

## 実学 そして 美術

[www.mishima.ac.jp/](http://www.mishima.ac.jp/)

### ■東北生活文化大学

- 家政学部 家政学科  
服飾文化専攻  
健康栄養学専攻
- 美術学部 美術表現学科

### ■東北生活文化大学短期大学部

- 生活文化学科  
食物栄養学専攻  
子ども生活専攻

### ■東北生活文化大学高等学校

- 普通科  
未来創造コース  
保育コース  
進学コース  
看護医療コース
- 商業科  
情報ビジネスコース  
進学ライセンスコース
- 美術・デザイン科

### ■まほみ幼稚園

東北生活文化大学短期大学部附属

### ■まほみ保育園

東北生活文化大学短期大学部附属

## 目次

▶建学の精神、校訓 .....	1
▶三島学園理事長挨拶 .....	2
▶三島学園の概要 建学の精神 斎藤實子爵と三島学園 .....	3
▶三島学園の沿革 .....	4
▶三島学園管理運営組織図 .....	6
▶三島学園役員・主な役職者 .....	7
▶令和4年度法人収支状況 .....	8
▶歴代の理事長 キャンパス全体図・面積 .....	9
▶三島学園の変遷 .....	10
▶大学・短期大学部・高等学校・幼稚園・保育園の概略 .....	18
▶アクセス .....	19

建学の精神

高い知識と技倆を修め、

常に文化創造に寄与する、

清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す

校訓

励み、  
謹み、  
慈み



## 三島学園理事長挨拶

「学校法人三島学園要覧 2023」をお届けします。

本学園は、令和2（2020）年に創立120周年を迎えました。明治33（1900）年10月6日に三嶋駒治先生が東北法律学校の設置認可を受け、仙台市東三番町に開校したのが学園の始まりです。夜間で、修業年限は本科が三カ年、別科が一カ年でのスタートでした。3年後の明治36（1906）年10月10日には、三嶋駒治・よし夫妻が東北女子職業学校の設置認可をうけ、同じく東三番町の敷地内で開校しました。

その後、色々な変遷を経て、現在では、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園及び東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園を有する総合学園として発展してきました。

昨今では、グローバル化、少子高齢化の進展、新興国の台頭などによる競争激化等の社会経済状況の変化により大規模な教育改革が推進されております。日本では、「人生100年時代」に、すべての国民が元気に活躍し続けられる社会を実現しようと「人づくり革命」に乗り出しています。

人づくり革命では、幼児教育の無償化、待機児童の解消、高等教育の無償化、私立高校の授業料実質無料化、保育士・介護人材の処遇改善、大学改革、リカレント教育、高齢者雇用促進等主に教育を中心とした政策が実施されております。

本学園では、これらの社会の要請に応えるため、それぞれの教育機関の充実を図っていくこととしております。令和4年3月には、隣地の東日本放送株式会社の跡地及び旧社屋を購入しており、主に大学美術学部が使用することとして大学での教育環境の整備を進めています。さらに、併せてその間にある緑地帯を購入して遊歩道を設置し、虹の丘キャンパスと双葉ヶ丘キャンパスを一体化して魅力あるキャンパスを目指しています。幼稚園、保育園及び高等学校での無償化が実施されております。大学及び短期大学部では、大学等における修学の支援に関する法律の機関要件を満たすべく努力をしております。

本要覧が、学園内の教職員はもちろんのこと、学園外の皆様方にとって何がしかの参考になれば幸いです。さらには、本学園の教職員の活性化につなげるためにも、本要覧をご覧になられた皆様方からのご批判やご意見を賜ればと願っております。

令和5年7月  
学校法人三島学園理事長 大庭 清



双葉ヶ丘入り口にある学園木（紅梅・白梅）の説明板  
（令和元年9月18日設置）

創立者墓地（仙台市青葉区北山／輪王寺）



## 三島学園の概要

三島学園は、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、短期大学部附属ますみ幼稚園、短期大学部附属ますみ保育園の五つの教育及び保育機関を擁する総合学園であります。明治33（1900）年三島駒治・よし夫妻による東北法律学校、3年後の東北女子職業学校開校を礎に、時代の要請と地域の期待に応えて改革を重ね、現在の学園へと発展してきました。

初めは当時の仙台市東三番丁、次いで仙台市の中心部に近い清水小路に誕生しましたが、規模拡大に伴って、大学、短大、高校は約40年前に風光明媚な泉区虹の丘に移転し、太白区向山にある幼稚園及び保育園と共に二つのキャンパスを形成しており、その後、令和4年3月に隣接地に所在した東日本放送株式会社の跡地及び旧社屋を購入して双葉ヶ丘キャンパスと、三つのキャンパスを有しております。

激動の20世紀を歩みつつ、創立120年の歴史を誇り、実学重視の教育を通じて地域文化の向上に寄与することを建学の精神とし、生活に密着した人材の育成を使命として多くの有為な人材を世に送り出して参りました。

21世紀に入り、社会が高度化・多様化・グローバル化へと歩み続ける中、知識基盤社会への構築を目処に、教育に課せられた問題は多岐にわたり、教育機関としての責務はますます大きくなっております。そのことを自覚しつつ、学園全体の教育内容の改善・充実に努めながら、大学・短大部門では「家政、服飾、健康栄養、美術、食物栄養、保育等の専門分野の教育と研修」を、高校部門では「基礎と基本を大切にし、一人ひとりの多様な個性や能力・才能を尊重し、その価値を認めて最大限に伸ばす教育」を、幼稚園・保育園では「一人ひとりの良さをさらに伸ばしつつ、たのしく、やさしく、たくましく、調和の取れた子どもを育成するための教育」を、それぞれ力点において教育活動を続けております。

本学園は、これらの専門知識の教育と豊かな人間形成を通じて、必ずや地域の生活文化に寄与する人材の育成に貢献できるものと自負しております。

## 建学の精神

本学園の建学の精神は、学園創設時における創立者の教育精神、すなわち、実学教育による地域の生活文化の向上であります。この教育精神に基づいて、わが国教育の振興改善と人材育成に寄与するため、大学・短大の創設においては「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健全な人間の育成を目指す」を建学の精神に掲げ、高校の創設においては「実学を重んじ、個性の伸長と清く正しく礼節を大切にした人格円満な人間を育成し、もって地域社会の発展に貢献する」を建学の精神に掲げ、共に学園創設時の創立者の教育精神をゆるぎなく堅持して今日に及んでおります。また、創立者の教えの言葉「励み 謹み 慈み」は校訓として学内の石碑に収められ、校歌にも謳われております。

まこと

## 齋藤實子爵と三島学園

第30代内閣総理大臣（1932年5月～1934年7月）を務めた齋藤實子爵は、岩手県水沢町（現奥州市水沢区）の出身で、三島よし先生とは又従兄弟に当たる親戚関係にあったため、三島両先生が仙台に東北法律学校、東北女子職業学校を創設した当初から、両先生への支援を惜しまず、物心両面で両先生を激励し続け、大正13年から昭和11年にわたり学園の設立者にも就任くださって学園の発展に多大の貢献をされました。三島両先生はこの恩義に報いるため、昭和11年2・26事件により子爵が亡くなられた後、子爵と学園との深い絆が学園に学ぶ全ての人々に永久に記憶されることを願って、子爵の胸像を建てられました。



学園内に設置されている  
創立者三島駒治・よし両先生と  
学園の恩人齋藤實子爵の胸像

## 三島学園の沿革

- 明治33年10月6日：三島駒治先生、宮城県知事から東北法律学校設置認可〔(夜間)、修業年限：本科(3年)別科(1年)〕を受ける。
- 明治33年10月28日：東北法律学校、仙台市東三番丁143番地に開校する。
- 明治36年10月10日：東北女子職業学校設置〔本科(修業年限2年)・別科(修業年限2年)・高等研究科(修業年限6ヶ月)〕認可される。
- 明治36年10月27日：教育勅語を奉戴し、創立記念日と定める。
- 明治38年4月：東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の4コースを設置する。修業年限を1年とする。
- 明治43年4月：東北女子職業学校に速成科(修業年限1年)を設置(4つめの科)する。
- 大正2年9月：仙台市清水小路3番地への移転完了
- 大正11年3月31日：東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとして東北法律学校を廃止する。
- 大正13年3月10日：東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。  
東北女子職業学校速成科を選科に改称する。
- 大正13年5月13日：東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。
- 大正13年7月16日：設立者を、三島よし及び齋藤實・子爵とする名義変更が文部大臣から認可される。
- 大正15年3月9日：東北女子職業学校に高等師範科(修業年限3年)の設置認可を受ける。
- 昭和5年4月21日：東北女子職業学校に商業本科(修業年限2年)、商業専修科(修業年限1年)、師範研究科(修業年限1年)及び高等師範研究科(修業年限1年)設置認可を受ける。
- 昭和6年1月23日：東北女子職業学校師範研究科を師範専修科に、高等師範研究科を高等師範専修科に改称する。
- 昭和6年10月28日：東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部(和裁専攻)及び専攻科第二部(洋裁専攻)への改組が認可される。
- 昭和9年3月1日：東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限4年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。
- 昭和13年9月16日：設立者を、三島駒治及び三島よしとする名義変更が文部大臣から認可される。
- 昭和14年3月31日：東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部(尋常小学校就業者の受け入れ、修業年限4年)及び第二部(高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限2年)への改組を認可される。
- 昭和15年3月25日：文部大臣から財団法人三島学園設立の認可を受ける。理事長：三島駒治
- 昭和19年4月15日：中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部(旧高等師範科)、専攻科第二部(旧専攻科)を設置する認可を受ける。
- 昭和20年4月：東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。8月の終戦により廃止する。
- 昭和22年3月31日：三島学園女子専門学校(被服科、修業年限三カ年)の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。  
(専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。)
- 昭和23年3月31日：学制改革により三島学園女子高等学校(普通科)の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。
- 昭和23年4月1日：三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科(修業年限1年)を設置する。
- 昭和24年4月1日：三島学園女子高等学校に美容科(別科、修業年限1年)を設置する。  
別科・専修科(修業年限2年)を設置する。
- 昭和25年1月19日：三島学園女子高等学校美容科が厚生大臣から美容師養成機関の認可を受ける。
- 昭和26年2月22日：財団法人三島学園を学校法人三島学園に改組する。理事長：佐藤 兌
- 昭和26年2月27日：三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。6月3日、開学式を挙げる。
- 昭和26年3月31日：三島学園女子専門学校を廃止する。
- 昭和27年3月27日：三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。
- 昭和27年4月1日：三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校(修業年限4年)を設置する。
- 昭和29年4月1日：三島学園女子短期大学に第二部(夜間2年制)及び別科被服専修第二部(夜間1年制)を設置する。
- 昭和30年3月31日：三島学園女子短期大学家政専攻科(1年制)を設置する。
- 昭和30年4月30日：三島学園女子短期大学附属眞澄(ますみ)幼稚園(仙台市向山大窪地102)設置の認可を受ける。同年5月28日、開園式を挙げる。
- 昭和33年1月10日：三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、6月3日開学式を挙げる。
- 昭和33年3月31日：三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。
- 昭和37年4月1日：三島学園女子短期大学に体育科を開設する。
- 昭和38年3月31日：三島学園女子短期大学別科被服専修第二部(夜間1年制)を廃止する。
- 昭和40年4月1日：三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。
- 昭和43年4月1日：三島学園女子高等学校に商業科を開設する。
- 昭和44年3月3日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年4月1日開園する。
- 昭和45年3月31日：三島学園女子中学校を廃止する。
- 昭和47年3月31日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。
- 昭和49年4月1日：三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。
- 昭和49年12月2日：三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生14番地(現校地)に全面移転を完了する。
- 昭和51年3月31日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。
- 昭和55年4月1日：学園の所在地の表示、泉市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
- 昭和56年4月1日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を：三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称する認可がされる。
- 昭和57年9月30日：三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。
- 昭和59年9月：三島学園女子短期大学に第二部(夜間2年制)を廃止する。
- 昭和62年4月1日：三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。
- 昭和62年4月1日：三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。
- 昭和63年4月1日：仙台市と泉市の合併により、所在地の表示を仙台市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
- 平成元年4月1日：仙台市の政令指定都市移行に伴い、所在地の表示を仙台市泉区虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。

平成 2年10月 6日：三島学園創立90周年記念式典を挙げる。

平成 4年 9月22日：三島学園女子高等学校美容科（別科）、平成5年度生徒募集停止を届け出る。

平成 5年 3月31日：三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。

平成 7年 9月23日：虹の丘ますみ幼稚園、園児募集を停止する。

平成 9年 4月 1日：虹の丘ますみ幼稚園、休園とする。

平成10年 3月31日：虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。

平成10年 4月 1日：三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。

平成12年10月27日：創立百周年記念式典を挙げる。

平成13年 1月17日：「一世紀にわたり生活に密着した教育と人材の育成に寄与」により河北文化賞を受賞する。

平成13年 2月27日：三島学園女子高等学校が文部科学省及び総務省から「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」の指定校に登録された。

平成13年 4月 1日：三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。

平成13年 4月 1日：仙台圏大学圏の単位互換制度が発足する。

平成13年 4月 1日：三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。

平成14年 4月 1日：三島学園女子高等学校普通科に「保育コース」を設置する。

平成15年 4月 1日：三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。  
東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の2コースに編成する。

平成15年 4月 1日：東北生活文化大学家政学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。  
健康栄養学専攻は、厚生労働大臣から栄養士及び管理栄養士の養成施設として認可される。

平成16年 4月 1日：三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。

平成16年 4月 1日：東北生活文化大学高等学校商業科が文部科学省から「教育改革推進モデル事業」の指定校に登録された。

平成16年 4月 1日：ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。

平成17年 4月 1日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。厚生省労働大臣から保育士養成施設として認可される。

平成18年 4月 1日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻が幼稚園二種免許の課程として認可される。  
子育て・家庭センターを開設する。

平成19年 4月 1日：東北生活文化大学家政学部家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」に改称する。

平成20年 3月19日：東北生活文化大学が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。

平成20年 8月 2日：東北生活文化大学50周年記念式典及び祝賀会を挙げる。

平成22年 3月17日：三島学園産学連携協議会が発足する。

平成22年 3月18日：東北生活文化大学短期大学部が、「財団法人短期大学基準協会が定める第三者評価基準を満たしている。」と認定される。

平成23年 3月11日：東日本大震災の発災により建物設備が甚大な被害をうける。

平成23年 4月 1日：東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」を「総進コース」及び「啓進コース」に改編する。  
東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。  
東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタテインメントコースを設置する。

平成25年 4月 1日：東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。  
同専攻は厚生労働大臣から栄養士養成施設の認可を受ける。

平成25年 4月 1日：東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。  
東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」を「進学コース」、「特別進学コース」に改称する。  
東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。

平成25年 4月 1日：ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。

平成26年 3月11日：東北生活文化大学が、「日本高等教育機構が定める大学評価基準に適合している」と認定される。

平成26年 3月31日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。

平成27年 4月 1日：東北生活文化大学家政学部家政学科服飾文化専攻の入学定員を、30名から28名に変更して、健康栄養学専攻3年次編入学定員2名とした。

平成28年 3月10日：東北生活文化大学短期大学部が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。

平成29年 4月 1日：東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。

平成30年 7月20日：東北生活文化大学美術学部美術表現学科設置計画が受理される。

平成30年10月17日：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と仙台市教育委員会との間で連携協力に関する協定書を締結する。

平成30年12月19日：上越教育大学と東北生活文化大学における上越大学大学院学校教育研究科への学生受け入れ及び学生支援に関する覚書を取り交わす。

平成31年 1月16日：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と宮城県教育委員会との間で包括連携協力に関する協定書を締結する。

平成31年 4月 1日：東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。

令和 元年 9月20日：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部が、文部科学省から大学等における就学の支援に関する法律第7条第2項に掲げる要件を満たしている旨の確認を受ける。

令和 3年 3月31日：東北生活文化大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価で適合認定を受けられなかった。

令和 4年 3月10日：三島学園と株式会社東日本放送跡地との間に存在する緑地帯を購入する。

令和 4年 3月31日：株式会社東日本放送の跡地及び社屋を購入する。

令和 4年 4月 1日：東北生活文化大学高等学校普通科に看護医療コース（定員30名）を設置する。

令和 4年12月26日：株式会社東日本放送旧社屋を大学7号館と命名し、東北生活文化大学美術学部の授業を開始する。

令和 5年 3月10日：東北生活文化大学短期大学部は、一般財団法人大学・短期大学基準協会による機関別認証評価で「協会が定める短期大学評価基準を満たしている。」との適格の認定を受ける。

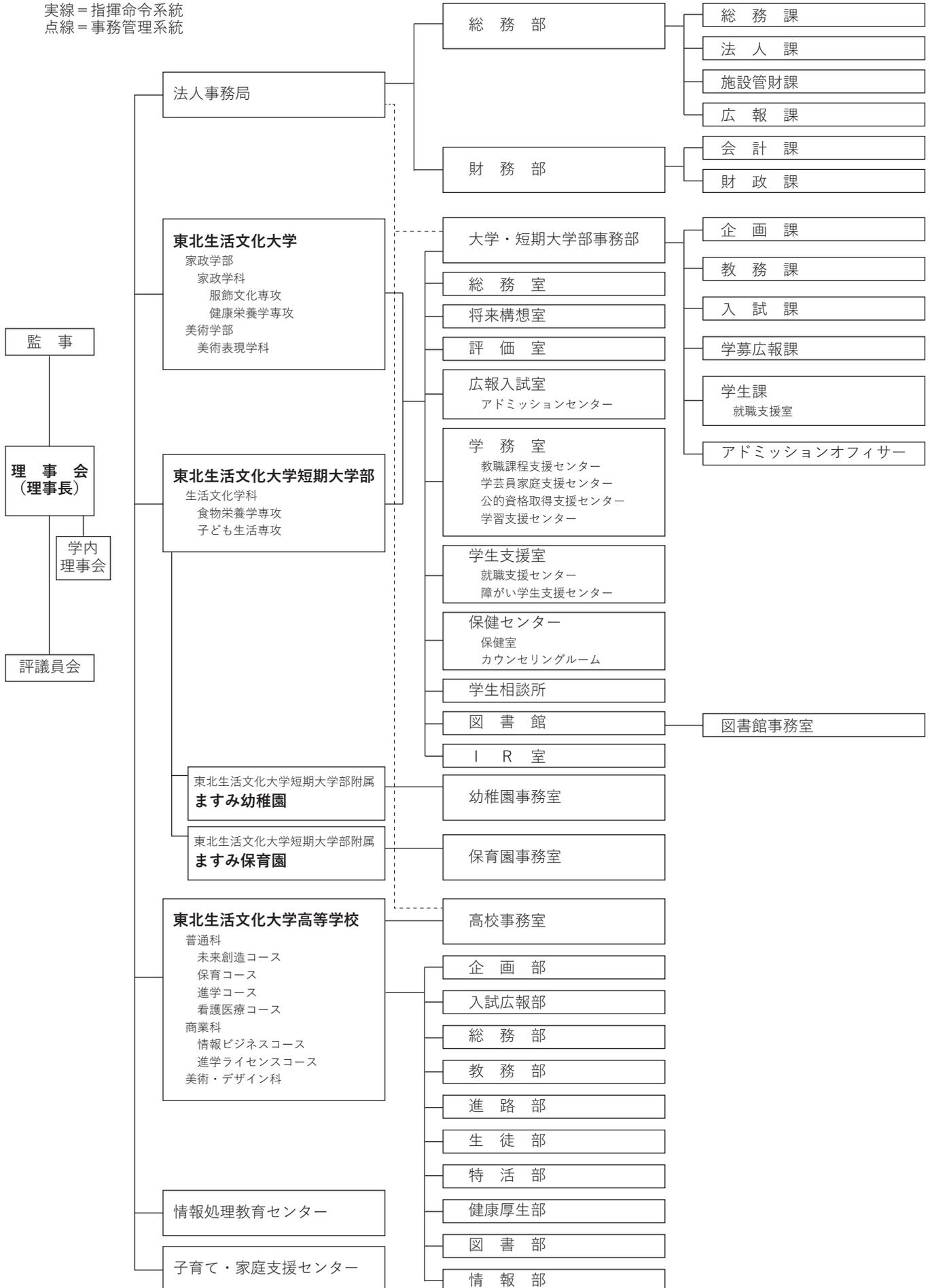
令和 5年 3月14日：東北生活文化大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価で「機構が定める大学評価基準に適合している。」との適合認定を受ける。

令和 5年 3月31日：東北生活文化大学高校普通科特別進学コースを廃止する。

令和 5年 4月 1日：東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園は、仙台市からの確認を得て、施設型給付費の支給に係る施設となる。

# 三島学園管理運営組織図 (令和5年4月1日現在)

実線 = 指揮命令系統  
点線 = 事務管理系統

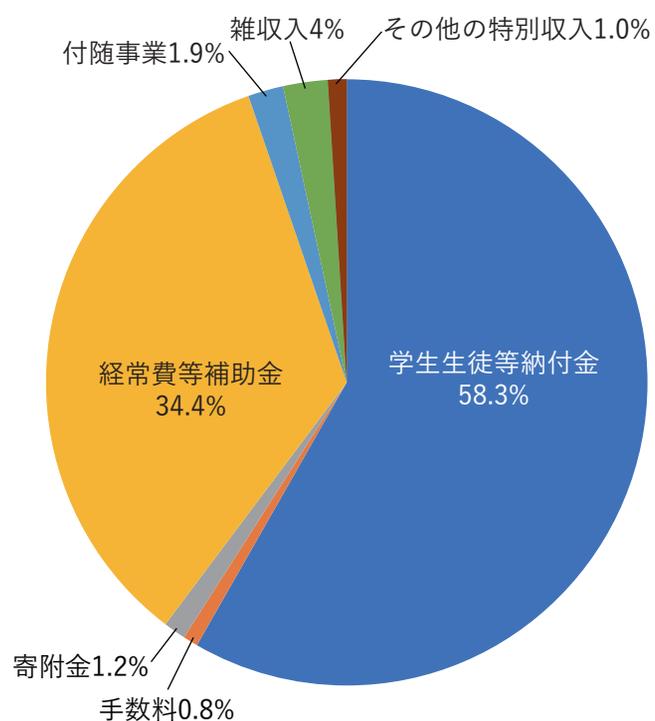


## 三島学園役員・主な役職者 (令和5年4月22日現在)

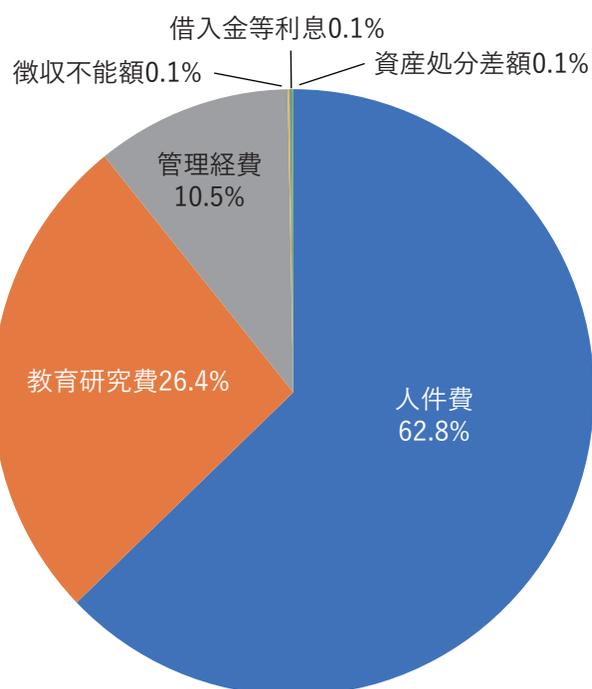
理事長 大庭 清	広報課長／長井孝行 施設管財課長／後藤 固	学募広報課長／大石正芳 学生課長／三浦義雄
理事(大学・短大・幼稚園・保育園担当) 佐藤一郎	財務部長／後藤 固 財政課長／後藤 固	アドミッションオフィサー／千葉卓也
理事(高校担当) 佐々木武弘		
理事(学募・広報担当) 北折 整	<b>【大学】</b> —————	<b>【高等学校】</b> —————
理事(募金・歴史資料管理担当) 近江恵美子(学外者)	学長／佐藤一郎	高等学校長／佐々木武弘
理事(企画・経営統括担当) 長井孝行	副学長／北折 整	副校長／水沼武晴
理事(企画・地域連携担当) 西野徳三	家政学部長／鈴木裕行 家政学科長／鈴木裕行	教頭／油井康浩 教頭／吉本世一
理事(教学担当) 有川幾夫(学外者)	服飾文化専攻主任／菅野修一 健康栄養学専攻主任／栗山孝雄	現職教育指導主事／須藤由子 現職教育指導主事／今野 隆
監事(非常勤) 三島卓郎	美術学部長／三上秀夫 美術表現学科長／三上秀夫	入試広報指導主事／須藤由子 入試広報指導主事／今野 隆
監事(非常勤) 光井 正		普通科長／小野安史 商業科長／泉田輝彦
	<b>【短期大学部】</b> —————	美術・デザイン科長／長岡貴史 3学年部会部長／小笠原智美
	学長／佐藤一郎	2学年部会部長／武者仁美 1学年部会部長／渡邊紀子
	生活文化学科長／池田展敏	企画部長／倉本郁哉
	食物栄養学専攻主任／益田裕司	入試広報部長／阿部博行
	子ども生活専攻主任／大瀬戸美紀	総務部長／梅津 隆
		教務部長／鹿野 尚文
		進路部長／橋本和明
		生徒部長／志摩有亮
		特活部長／鎌田真理
		図書部長／三浦奈美子
		健康厚生部長／三浦聡子
		情報部長／吉田 潤一
		事務長／高橋 修
評議員／佐藤一郎	<b>【大学・短大の共通組織】</b> —————	<b>【幼稚園】</b> —————
評議員／佐々木武弘	総務室長／木下ゆり	幼稚園長／小熊信治
評議員／北折 整	将来構想室長／栗山孝雄	主事／高橋 修
評議員／鈴木裕行	評価室長／佐藤靖子	
評議員／池田展敏	学務室長／鈴木裕行	
評議員／油井康浩	教職課程センター長／	
評議員／吉本世一	学芸員課程センター長／落合里麻	
評議員／須藤佑子	公的資格取得支援センター長／川俣幸一	
評議員／笠松祐子	広報入試室長／池田展敏	
評議員／近江恵美子	学生支援室長／鈴木 専	
評議員／芳賀節子	保健センター長／中尾真理	
評議員／大庭 清	図書館長／伊藤常久	
評議員／西野徳三	学生相談所長／永沼孝子	
評議員／有川幾夫	アドミッションセンター長／北折 整	
評議員／長井孝行	学習支援センター長／鈴木裕行	
評議員／小熊信治	I R室長／北折 整	
評議員／三上秀夫		
評議員／稲邊眞由美		
評議員／宮澤利彰		
評議員／水沼武晴		
	<b>【大学・短大の事務局】</b> —————	<b>【情報処理教育センター】</b> —————
<b>【法人事務局】</b> —————	事務部長／白崎隆典	情報処理教育センター長／松尾 広
事務局長／長井孝行	企画課長／白崎隆典	
総務部長／信坂 健	教務課長／熊谷志武	
総務課長／信坂 健	教職・学芸課長 松田知子	
法人課長／長井孝行	入試課長／大石正芳	<b>【子育て・家庭支援センター】</b> —————
		子育て・家庭支援センター長／高橋恵美

## 令和4年度法人収支状況

### 令和4年度収入総額 (事業活動収入 21億267万円)



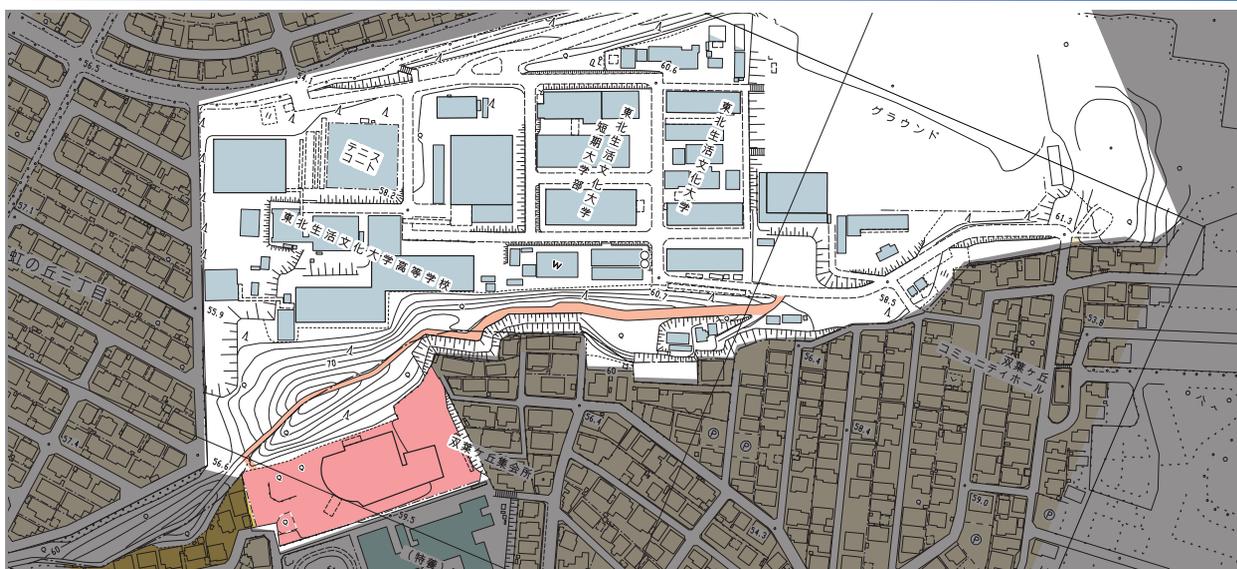
### 令和4年度支出総額 (事業活動支出 22億7,245万円)



## 歴代の理事長

<b>■東北法律学校</b>		昭和33年10月28日	～	大正11年	8月29日	校主	三島	駒治	
<b>■東北女子職業学校</b>		昭和36年11月11日	～	昭和15年	3月24日	校主	三島	駒治	
		昭和36年11月11日	～	昭和18年	9月3日	校長	三島	よし	
<b>■財団法人三島学園</b>		昭和15年	3月25日	～	昭和17年	1月3日	理事長	三島	駒治
		昭和17年	1月3日	～	昭和25年	1月8日	理事長	三島	よし
		昭和25年	1月8日	～	昭和26年	2月21日	理事長	佐藤	よし
<b>■学校法人三島学園</b>		昭和26年	2月22日	～	昭和44年	3月31日	理事長	佐藤	よし
		昭和44年	4月1日	～	昭和46年	3月31日	理事長	佐藤	直助
		昭和46年	4月1日	～	昭和47年	6月16日	理事長	佐藤	直助
		昭和47年	6月17日	～	昭和62年	3月31日	理事長	佐藤	直助
		昭和62年	4月1日	～	平成9年	3月31日	理事長	上田	直助
		平成9年	4月1日	～	平成13年	9月30日	理事長	佐々木	直助
		平成13年	10月1日	～	平成20年	6月30日	理事長	池上	直助
		平成20年	7月1日	～	平成31年	4月21日	理事長	浅尾	直助
		平成31年	4月22日	～	令和元年	5月25日	理事長代行	浅尾	直助
		令和元年	5月25日	～	現在		理事長	大庭	直助

## キャンパス・建物



### ■仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

土地〔虹の丘キャンパス〕……………108,868m<sup>2</sup>

・百周年記念棟（事務局・記念ホール等）……………	2,236m <sup>2</sup>
・施設（テニスコート2面、グラウンド）……………	21,855m <sup>2</sup>
・同窓会館……………	299m <sup>2</sup>
・顕彰館……………	159m <sup>2</sup>

【東北生活文化大学】建物小計……………11,746m<sup>2</sup>

・1号館……………	1,559m <sup>2</sup>
・2号館……………	1,576m <sup>2</sup>
・3号館……………	1,620m <sup>2</sup>
・4号館……………	334m <sup>2</sup>
・5号館……………	1,006m <sup>2</sup>
・実験棟……………	1,057m <sup>2</sup>
・6号館……………	2,034m <sup>2</sup>
・体育館……………	1,455m <sup>2</sup>
・図書館……………	645m <sup>2</sup>
・窯業場……………	70m <sup>2</sup>
・造形演習工房……………	170m <sup>2</sup>
・壁画工房……………	65m <sup>2</sup>
・クラブハウス……………	155m <sup>2</sup>

【東北生活文化大学短期大学部】建物小計……………5,243m<sup>2</sup>

・短大棟……………	3,157m <sup>2</sup>
・80周年記念棟（音楽室・レッスン室・練習室・プレイルーム）……………	582m <sup>2</sup>
・短大・高校第2新体育館……………	1,504m <sup>2</sup>

【東北生活文化大学高等学校】建物小計……………14,194m<sup>2</sup>

・校舎A棟（普通教室・職員室・図書室）……………	4,464m <sup>2</sup>
・校舎B棟（特別教室等）……………	3,041m <sup>2</sup>
・校舎C棟（普通教室）……………	1,062m <sup>2</sup>
・多目的デザインホール……………	586m <sup>2</sup>
・体育館……………	2,279m <sup>2</sup>
・クラブハウス、工芸・陶芸教室……………	1,128m <sup>2</sup>
・デッサン棟、生活教育特別実習室、アトリエ室他……………	1,634m <sup>2</sup>

### ■仙台市青葉区双葉ヶ丘

土地〔双葉ヶ丘キャンパス〕……………10,618m<sup>2</sup>

【大学7号館】……………5,886m<sup>2</sup>

### ■仙台市太白区向山四丁目26番地の34

土地〔向山キャンパス〕……………5,145m<sup>2</sup>

【短期大学部附属すみ幼稚園】……………534m<sup>2</sup>

【短期大学部附属すみ保育園】……………409m<sup>2</sup>

# 三島学園の変遷

明治33年10月 6日 東北法律学校設置認可「(夜間)、修業年限：本科(3年)別科(1年)」

明治33年10月28日

東北法律学校開校。

明治36年10月10日 東北女子職業学校設置認可「本科(修業年限2年)・別科(修業年限2年)・高等研究科(修業年限6ヶ月)」

東北女子職業学校	
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)
	高等研究科 (修業年限6ヶ月)

明治38年 4月 東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の4コースを設置する。修業年限を1年とする。

東北女子職業学校	
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)
	高等研究科 (修業年限1年)
	本科
	別科
	家政科、家庭商業科、 裁縫師範科、裁縫専攻科の4コース

明治43年 4月 東北女子職業学校にを設置(4つ目の科)する。

東北女子職業学校	
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)
	高等研究科 (修業年限1年)
	本科・別科
	速成科 (修業年限1年)

大正11年 3月31日 東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとしてする。

東北法律学校廃止

大正13年 3月10日 東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。

東北女子職業学校速成科を選科に改称する。

東北女子職業学校	
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)
	高等研究科 →師範科
	高等研究科 →専攻科
	速成科 (修業年限1年) →選科

大正13年 5月13日 東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。

大正15年 3月 9日 東北女子職業学校に高等師範科(修業年限3年)の設置認可を受ける。

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科
		選科	高等師範科 (修業年限3年)

昭和 5年 4月21日 東北女子職業学校に商業本科(修業年限2年)、商業専修科(修業年限1年)、師範研究科(修業年限1年)及び高等師範研究科(修業年限1年)設置認可を受ける。

東北女子職業学校			
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科
		選科	高等師範科 (修業年限3年)
		師範研究科 (修業年限1年)	商業本科 (修業年限2年)
		商業専修科 (修業年限1年)	高等師範研究科 (修業年限1年)

昭和 6年 1月23日 東北女子職業学校師範専修科を高等師範専修科に改称する。

東北女子職業学校				
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科	選科
				高等師範科 (修業年限3年)
				師範研究科 →師範専修科
				商業科 商業本科 (修業年限2年)
				商業専修科 (修業年限1年)
				高等師範研究科 →高等師範専修科

昭和 6年10月28日 東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部(和裁専攻)及び専攻科第二部(洋裁専攻)への改組が認可される。

東北女子職業学校				
本科 (修業年限2年)	別科 (修業年限2年)	師範科	専攻科 →専攻科第一部(和裁専攻) →専攻科第二部(洋裁専攻)	選科
				高等師範科 (修業年限3年)
				師範専修科
				商業科 商業本科 (修業年限2年)
				商業専修科 (修業年限1年)
				高等師範専修科

昭和 9年 3月 1日 東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限4年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。

東北女子職業学校				
本科 (修業年限4年に改正)	別科 …廃止	師範科	専攻科 専攻科第一部(和裁専攻)、 専攻科第二部(洋裁専攻) →専攻科	選科
				高等師範科 (修業年限3年) →高等師範専修科
				師範研究科 (修業年限1年) →師範専修科
				商業科 商業本科 (修業年限2年)
				商業専修科 (修業年限1年)
				高等師範専修科

昭和14年 3月31日 東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部(専修小学校就業者の受け入れ、修業年限4年)及び第二部(高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限2年)への改組を認可される。

東北女子職業学校				
本科 本科第一部 (修業年限4年)	本科第二部 (修業年限2年)	師範科	専攻科	裁縫専修科
				高等師範専修科
				師範専修科
				商業科 商業本科 (修業年限2年)
				商業専修科 (修業年限1年)
				高等師範科 高等師範専修科
				洋裁科

昭和15年 3月25日 財団法人三島学園設立認可

昭和19年 4月15日 中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部(旧高等師範科)、専攻科第二部(旧専攻科)を設置する認可を受ける。

東北女子職業学校→東北女子実業学校				
本科 本科第一部 (修業年限4年)	本科第二部 (修業年限2年)	師範科 …廃止	専攻科 →専攻科第二部	裁縫専修科 …廃止
				高等師範専修科 →専攻科第一部
				師範専修科 …廃止
				商業科 商業本科 (修業年限2年)
				商業専修科 (修業年限1年)
				高等師範科 高等師範専修科
				洋裁科 …廃止

東北女子実業学校		
本科第一部 (修業年限4年)	本科第二部 (修業年限2年)	専攻科第二部

昭和20年 4月 東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。8月の終戦により廃止する。

昭和22年 3月31日 三島学園女子専門学校(被服科、修業年限三カ年)の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。

(専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。)

三島学園女子中学校

三島学園女子中学校		
本科第一部 (修業年限4年)	本科第二部 (修業年限2年)	専攻科第一 →三島学園女子専門学校へ →専攻科

三島学園女子専門学校(被服科、修業年限三カ年)

専攻科第一 →被服科 (修業年限3年)
------------------------

昭和23年 3月31日 学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。

東北女子実業学校		
本科第一部 …廃止	本科第二部 …廃止	専攻科 …廃止

三島学園女子高等学校 普通科
-------------------

昭和23年 4月 1日 三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限1年）を設置する。

三島学園女子高等学校 普通科	専攻科洋裁科 （修業年限1年）
-------------------	--------------------

昭和24年 4月 1日 三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限1年）を設置する。

別科・専修科（修業年限2年）を設置する。

夜間洋裁科（普通科（修業年限6ヶ月）及び研究科（修業年限6ヶ月））を設置する。

三島学園女子高等学校		
普通科	専攻科洋裁科 （修業年限1年）	美容科 （別科、 修業年限1年）
		別科・専修科 （修業年限2年）

夜間洋裁科 普通科 （修業年限 6ヶ月）	研究科 （修業年限 6ヶ月）
-------------------------------	----------------------

昭和26年 2月22日 財団法人三島学園  
→学校法人三島学園

昭和26年 2月27日 三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。6月3日、開学式を挙げる。

三島学園女子短期大学 被服科
-------------------

昭和26年 3月31日 三島学園女子専門学校を廃止する。

三島学園女子専門学校 …廃止
-------------------

昭和27年 3月27日 三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。

三島学園女子短期大学	
三島学園女子 短期大学 被服科	専攻科洋裁科 （修業年限1年） →別科洋裁科 （修業年限1年）

三島学園女子高等学校		
普通科	専攻科洋裁科 →短大別科洋裁科 （修業年限1年）	美容科 （別科、 修業年限1年）
		別科・専修科 （修業年限2年）

昭和27年 4月 1日 三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限4年）を設置する。

三島学園女子高等学校		
普通科	美容科 （別科、 修業年限1年）	別科・専修科 （修業年限2年）
		夜間の定時制高校 （修業年限4年）

昭和28年10月 1日 夜間和裁科（普通科（修業年限6ヶ月）及び研究科（修業年限6ヶ月））を設置する。

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)

昭和29年 4月 1日 三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）及び別科被服専修第二部（夜間1年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
被服科 一家政科 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)	

昭和30年 3月31日 三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
			家政専攻科 (1年制)

昭和30年 4月30日 三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園（山田市向山大窪谷地102）設置の認可を受ける。同年5月28日、開園式を挙げる。

三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園

昭和31年 4月 1日 三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園の名称をますみ幼稚園に改称する。

三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園  
→三島学園女子短期大学附属  
ますみ幼稚園

昭和33年 1月10日 三島学園女子短期大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、6月3日開学式を挙げる。

三島学園女子大学	家政学部家政学科
----------	----------

昭和33年 3月31日 三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科洋裁科 (修業年限1年) …廃止	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)
			家政専攻科 (1年制)

昭和36年 3月31日 三島学園女子短期大学家政専攻科（1年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)	家政専攻科 (1年制) …廃止

昭和37年 4月 1日 三島学園女子短期大学に体育科を開設する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制)	体育科

昭和38年 3月 1日 三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間1年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	別科被服専修 第二部 (夜間1年制) …廃止	体育科

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科 (修業年限 6ヶ月) …廃止	研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月)

夜間洋裁科		夜間和裁科	
研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月)	研究科 (修業年限 6ヶ月) …廃止	

昭和39年 3月31日

夜間洋裁科	夜間和裁科
研究科 (修業年限 6ヶ月)	普通科 (修業年限 6ヶ月) …廃止

昭和40年 4月 1日 三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。

三島学園女子大学	
家政学部	
家政学科	生活理学科 生活美術学科

昭和43年 4月 1日 三島学園女子高等学校に商業科を開設する。

三島学園女子高等学校			
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年)	別科・専修科 (修業年限2年) …廃止	夜間の定時制高校 (修業年限4年)
			商業科 (3年制)

昭和44年 3月 3日 三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年4月1日開園する。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 丸田山ますみ幼稚園
------------------------	---------------------------

昭和45年 3月31日 三島学園女子中学校を廃止する。

三島学園女子中学校…廃止
--------------

昭和46年 3月31日 三島学園女子高等学校夜間の定時制高校(修業年限4年)を廃止する。

三島学園女子高等学校			
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年)	夜間の定時制高校 …廃止	商業科 (3年制)

昭和47年 3月31日 三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。

昭和49年 4月 1日 三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部 (夜間2年制)	体育科 …廃止

昭和49年12月 2日 三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生14番地(現校地)に全面移転を完了する。

昭和51年 3月31日 三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。

三島学園女子大学家政学部		
家政学科	生活理学科 …廃止	生活美術学科

昭和56年 4月 1日 三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を「三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園」と改称する認可がされる。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 丸田山ますみ幼稚園 →三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園
------------------------	---

昭和57年	9月30日	三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。							
昭和59年	9月	三島学園女子短期大学に第二部（夜間2年制）を廃止する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子短期大学</td> </tr> <tr> <td>家政科</td> <td>家政科第二部 (夜間2年制) …廃止</td> </tr> </table>	三島学園女子短期大学		家政科	家政科第二部 (夜間2年制) …廃止		
三島学園女子短期大学									
家政科	家政科第二部 (夜間2年制) …廃止								
昭和62年	4月1日	三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子大学 →東北生活文化大学</td> </tr> <tr> <td>家政学科</td> <td>生活美術学科</td> </tr> </table>	三島学園女子大学 →東北生活文化大学		家政学科	生活美術学科		
三島学園女子大学 →東北生活文化大学									
家政学科	生活美術学科								
昭和62年	4月1日	三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。	<table border="1"> <tr> <td>三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園 →ますみ幼稚園</td> <td>三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園 →虹の丘ますみ幼稚園</td> </tr> </table>	三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園 →ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園 →虹の丘ますみ幼稚園				
三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園 →ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園 →虹の丘ますみ幼稚園								
平成5年	3月31日	三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子高等学校</td> </tr> <tr> <td>普通科</td> <td>美容科 (別科、 修業年限1年) …廃止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>商業科 (3年制)</td> </tr> </table>	三島学園女子高等学校		普通科	美容科 (別科、 修業年限1年) …廃止		商業科 (3年制)
三島学園女子高等学校									
普通科	美容科 (別科、 修業年限1年) …廃止								
	商業科 (3年制)								
平成10年	3月31日	虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。	<table border="1"> <tr> <td>ますみ幼稚園</td> <td>虹の丘ますみ幼稚園…廃止</td> </tr> </table>	ますみ幼稚園	虹の丘ますみ幼稚園…廃止				
ますみ幼稚園	虹の丘ますみ幼稚園…廃止								
平成10年	4月1日	三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子高等学校</td> </tr> <tr> <td>普通科</td> <td>商業科 (3年制)</td> </tr> <tr> <td>生活文化コース</td> <td>総合教養コース 進学コース</td> </tr> </table>	三島学園女子高等学校		普通科	商業科 (3年制)	生活文化コース	総合教養コース 進学コース
三島学園女子高等学校									
普通科	商業科 (3年制)								
生活文化コース	総合教養コース 進学コース								
平成13年	4月1日	三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子短期大学</td> </tr> <tr> <td>家政科</td> <td>→生活文化学科</td> </tr> </table>	三島学園女子短期大学		家政科	→生活文化学科		
三島学園女子短期大学									
家政科	→生活文化学科								
平成13年	4月1日	三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子高等学校</td> </tr> <tr> <td>普通科</td> <td>商業科 (3年制)</td> </tr> <tr> <td>生活文化コース</td> <td>総合教養コース 進学コース 美術コース</td> </tr> </table>	三島学園女子高等学校		普通科	商業科 (3年制)	生活文化コース	総合教養コース 進学コース 美術コース
三島学園女子高等学校									
普通科	商業科 (3年制)								
生活文化コース	総合教養コース 進学コース 美術コース								
平成14年	4月1日	三島学園女子高等学校に「保育コース」を設置する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">三島学園女子高等学校</td> </tr> <tr> <td>普通科</td> <td>商業科 (3年制)</td> </tr> <tr> <td>生活文化コース</td> <td>総合教養コース 進学コース 美術コース 保育コース</td> </tr> </table>	三島学園女子高等学校		普通科	商業科 (3年制)	生活文化コース	総合教養コース 進学コース 美術コース 保育コース
三島学園女子高等学校									
普通科	商業科 (3年制)								
生活文化コース	総合教養コース 進学コース 美術コース 保育コース								

平成15年 4月 1日 三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。  
東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の2コースに編成する。

三島学園女子高等学校 →東北生活文化大学高等学校					
普通科					
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース	保育コース	商業科
				情報ビジネスコース	経営デザイン

平成15年 4月 1日 東北生活文化大学家政科学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	
家政学科	生活美術学科
家政学専攻	健康栄養学専攻

平成16年 4月 1日 三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。

三島学園女子短期大学 →東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	

平成16年 4月 1日 ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。

ますみ保育園

平成17年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻	子ども生活専攻

平成19年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	
家政学科	生活美術学科
家政学専攻 →服飾文化専攻	健康栄養学専攻

平成23年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」及び「啓進コース」に改編する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科					
生活文化コース	総合教養コース	進学コース →総進コース	進学コース →啓進コース	美術コース	保育コース
					情報ビジネス コース
					経営デザイン

平成23年 4月 1日 東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートイラストレーターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	
家政学科	生活美術学科
服飾文化専攻	健康栄養学専攻
	アートな職人コース アートイラストレーターコース アーティストコース デザイナーコース

平成23年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエントタテメントコースを設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 フードエントタテ メントコース	子ども生活専攻

平成25年 4月 1日 東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 →食物栄養学専攻	子ども生活専攻

平成25年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。

東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」、「特別進学コース」に改称する。  
東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース	総合教養 コース	総進コース →進学コース	啓進コース →特別進学 コース	保育コース	情報ビジネス コース
					経営デザイン →進学ライセン スコース
					美術・デザイン科

平成25年 4月 1日 まずはみ保育園、まずはみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属まずはみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属まずはみ保育園に改称する。

まずはみ幼稚園 →東北生活文化大学短期大学部附属 まずはみ幼稚園	まずはみ保育園 →東北生活文化大学短期大学部附属 まずはみ保育園
--	--

平成26年 3月31日 東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。

平成29年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
生活文化コース、総合教養コース →未来創造コース	進学コース	特別進学 コース	保育コース	情報ビジネス コース	進学ライセン スコース
					美術・デザイン科

平成31年 4月 1日 東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	美術学部
家政学科	美術表現学科
服飾文化専攻 服飾ビジネスコース 服飾生活コース	健康栄養学専攻 美術・工芸コース デザイン・メディア芸術コース

令和 4年 4月 1日 東北生活文化大学高等学校普通科に看護医療コースを設置する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
未来創造 コース	看護医療 コース	進学コース	特別進学 コース	保育コース	情報ビジネス コース
					進学ライセン スコース
					美術・デザイン科

令和 5年 3月31日 東北生活文化大学高校普通科特別進学コースを廃止する。

東北生活文化大学高等学校					
普通科			商業科		
未来創造 コース	看護医療 コース	進学コース	特別進学 コース	保育コース	情報ビジネス コース
					進学ライセン スコース
					美術・デザイン科

## 東北生活文化大学

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY

「暮らしワクワク設計チーム」として服飾・栄養・美術の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2 【TEL】022-272-7511 【FAX】022-301-5602

【設立】昭和33(1958)年1月10日 【学長】佐藤一郎 【副学長】北折 整 【定員】家政学部 家政学科58名(服飾文化専攻18名・健康栄養学専攻40名) / 美術学部 美術表現学科50名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、学術の中心として、幅広い教養を授けるとともに、深く生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、社会に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とし、使命としている。

## 東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU SEIKATSU BUNKA  
JUNIOR COLLEGE

「暮らしワクワク設計チーム」として栄養学・幼児教育・保育の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2 【TEL】022-272-7511 【FAX】022-301-5602

【設立】昭和26(1951)年2月27日 【学長】佐藤一郎 【定員】食物栄養学専攻40名 / 子ども生活専攻60名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、実学教育によって職業又は實際生活に必要な能力を養成し、社会に貢献する実践力のある人材を育成することを目的とし、使命としている。

## 東北生活文化大学高等学校

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY  
SENIOR HIGH SCHOOL

すべての生徒と先生との Friendship (きずな)

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18 【TEL】022-272-7530 【FAX】022-272-7523

【設立】昭和23(1948)年3月31日 【校長】佐々木武弘 【副校長】水沼武晴 【教頭】油井康浩・吉本世一

【定員】390名

【教育目標】「知性、感情、意思、能力、趣味が偏らない調和のとれた人」、「自愛からひろく他愛に及ぶ愛情豊かな人」、「空理空論に走らず小さな善でも勇敢に実行する実践力に富んだ人」の育成

東北生活文化大学短期大学部附属

## ますみ幼稚園

MASUMI KINDERGARTEN

三島学園の校訓を踏まえ、命最優先の教育、一人一人に目をかけ声をかけ誠心誠意を注ぐ教育、そして子どもから目をそらさず見限らない教育を基本理念にかかげる 調和、感性、実践力に富む子どもの育成を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目26-34 【TEL・FAX】022-225-5020

【設立】昭和30(1955)年5月28日 【園長】小熊信治 【定員】105名

【教育目標】たのしく やさしく たくましく

○喜んで活動する子 ○あいさつのできる子 ○思いやりの深い子 ○明るく元気な子

東北生活文化大学短期大学部附属

## ますみ保育園

MASUMI NURSERY SCHOOL

子どもの最善の利益を第一義に考え、一人一人を大切にし、保護者から信頼される保育園を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目26-34 【TEL】022-227-7080 【FAX】022-227-7085

【設立】平成16(2004)年4月1日 【園長】稲邊真由美 【定員】60名

【保育方針】よく遊び、意欲的に生活できる子どもの育成と、保護者と共に育て合う保育を行う

○じょうぶな子ども ○友達と力を合わせる子ども ○思いやりのある子ども

○自分で考えて行動する子ども ○感性豊かな子ども

# アクセス

## ■仙台駅方面からのアクセス



## 仙台駅前からバス利用の場合

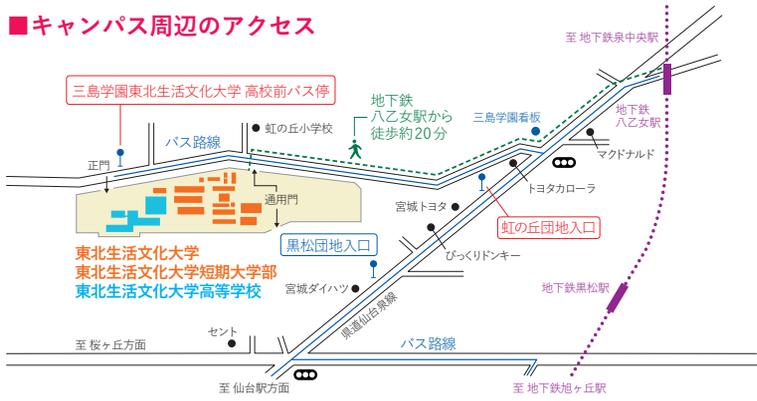
- 西口バスプール4番乗り場 [宮城交通バス]  
(県庁市役所経由)
- 「虹の丘団地 (黒松団地入口経由)」 行き
  - 「泉中央駅 (虹の丘・みずほ台経由)」 行き
  - >>> 約25分
  - 「三島学園東北生活文化大学・高校前」 下車 (片道350円)
- 「富谷営業所」 行き
  - 「向陽台団地」 行き
  - 「明石台団地」 行き
  - 「松陵ニュータウン (免許センター経由)」 行き
  - 「鶴が丘ニュータウン (住宅前経由、免許センター経由)」 行き
  - 「東北学院大学泉キャンパス」 行き
  - 「新富谷ガーデンシティ」 行き
  - 「八乙女駅 (※黒松二丁目経由、虹の丘団地入口経由)」 行き
- [仙台市営バス]
- >>> 約25分
  - 「虹の丘団地入口」 下車、徒歩約10分 (片道330円)

## 地下鉄南北線からバス利用の場合

- 八乙女駅2番乗り場 [宮城交通バス]
- 「仙台駅前 (みずほ台・虹の丘経由)」 行き
  - >>> 約10分
  - 「三島学園東北生活文化大学・高校前」 下車 (片道170円)
- 八乙女駅入口 [宮城交通バス]
- 「仙台駅前 (みずほ台・虹の丘経由)」 行き
  - >>> 約10分
  - 「三島学園東北生活文化大学・高校前」 下車 (片道170円)

路線バス時刻・運賃案内など、詳しくは宮城交通バスのホームページをご覧ください。  
宮城交通バス <http://www.miyakou.co.jp>

## ■キャンパス周辺のアクセス







体錬科

競技精神

武道精神



学校法人  
三島学園

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2  
TEL 022-272-7511(代)  
FAX 022-272-7516  
URL <http://www.mishima.ac.jp>  
E-mail [hojin@mishima.ac.jp](mailto:hojin@mishima.ac.jp)